

4月13日（月）

おはようございます。

四月は諸君にとって結構大きな変化のある時期です。中学校一年生と高校一年生は環境がまったく変わるわけですから当然ですね。勉強しなくてはならない教科数も大きく変わりますし、まったく新しい教科も出てきます。

高校三年生は、受験を一年後に控えていますから大きく環境が変化してきます。新学期のスタートの時に生活のリズムを整えられるかがとても大事になります。

中学校二年生はどうかというと、この時期は子どもから大人の体に本格的に変わっていく頃です。からだの成長と心の成長のバランスがうまく取れるといいのですが、そうでない場合、一年生ではうまく行っていた生徒が急におかしくなってしまうケースが多くあります。そういう意味で中学校二年生は非常に注意しなくてははいけません。

中学校三年生は、高校一年の勉強の先取りをしていますから、高校の難しい勉強にきちんと対応していかななくてはなりません。また、クラス替えもありますから、これまでとかなり雰囲気が変わりますね。

高校二年生は理系コースと文系コースに分かれて単位数も異なります。たとえば理系では、物理や基礎物理が2時間しかなかったのが4時間になったりします。物理が不得意であった生徒は文系コースに進みますから、得意な子たちの中でなおかつ授業の進度が倍のスピードになったりします。すると、それまでは得意科目だったのに、いきなり不得意になったりすることも起こりうるのです。当然友達関係も大きく変わります。新しいクラスに上手に馴染んでいかななくてはなりません。

生活のリズムを作ることはとても大切です。リズムが乱れると心が落ち着きません。きっちりしたリズムを作ると、なんでも上手に回っていきます。前にもお話しましたが、宮崎駿監督は、（イチロー選手も同じようなことを言っていますが）、映画を作っているときは食べものも同じものを奥さんに作ってもらうのだそうです。イチロー選手もイチローカレーと言って、奥さんが作るカレーを同じ時間に食べるということを言っていました。要するに二人ともさまざまに生活リズムが狂わない工夫をしているのです。

諸君も、新しい環境になったわけですから、自分で新しいリズムを作っていかななくてはなりません。今までとは違う環境で学校に通うようになり、クラブもやってみよう。そんななかで新しいリズムを作れるかどうか、これが非常に大切なのです。

新学年になっても、友達と一緒にいるので、生活のリズムを変えていかなきゃいけないということに気づかなかつたりします。いちどよく考えてほしく思

います。四月にきちんとしたリズムを作れたら、一年間は大丈夫です。逆に四月の段階で上手なリズムが作れなかったら、一年間苦労しなくてはならない。友だち関係が変わらなくても、環境は変わっているので、生活のリズムを変えていかなきゃいけないのだということをよく理解して、新しいリズムをぜひ頑張って作ってもらいたい。

厳しい受験勉強から解放された中学校一年生や高校一年生は、ちょっと気持ちがゆるみがちでしょうが、新しい学校へきて新しい環境のなかで新しいリズムを作っていくことがすごく大切です。その状況にあう形で四月にちょっと無理してしんどくても、上手にこの四月の間に新しい生活リズムを作ってもらいたいなと思います。今朝の話はこれで終わります。

(学校長)